

# 令和5年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	応用生態工学会 第21回北信越ワークショップin石川	事業経緯	継続	実施体制	協賛	担当所属	金沢支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業		事業区分	講座、セミナー、育成	

## 1. 事業目的

本事業は、地域風土として共通要素の多い北信越地域(新潟・富山・石川・福井・長野5県)において、「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の持続」の実現を目指して、行政、研究者、工事施工者などが一堂に会し議論する取り組みである。今回は、昨年8月集中豪雨の被災経験を踏まえ、様々な立場から流域治水に関する各種の対策と住民との合意形成について報告いただき、今後の流域治水の推進方向について議論を深めることを目的とする。

## 2. 事業実施体制

主催: 応用生態工学会金沢、応用生態工学会  
 協賛: 石川県治水協会、(一社)北陸地域づくり協会、北陸技術士懇談会  
 後援: 国土交通省北陸地方整備局、石川県、金沢市、小松市、石川県立大学、北國新聞社

## 3. 事業実施概要

テーマ: 「流域治水と地域連携」

### ◆ワークショップ(オンライン併催)

日時: 令和5年10月20日(金) 10:30~16:45

場所: 石川県勤労者福祉文化会館

プログラム:

- ・基調講演1「流域治水と河川・氾濫原環境の保全」  
中村 太士(北海道大学 農学研究院 教授)
- ・基調講演2「流域治水における市民連携」  
西廣 淳(国立環境研究所 気候変動適応センター 副センター長)
- ・一般講演4題

講師: 国土交通省金沢河川国道事務所、小松市、石川県農林水産部、東京大学

・総合討論 コーディネーター: 上野 裕介(石川県立大学 准教授)

・ポスターセッション

参加者: 141名(うちオンライン参加73名)

### ◆フィールドワーク

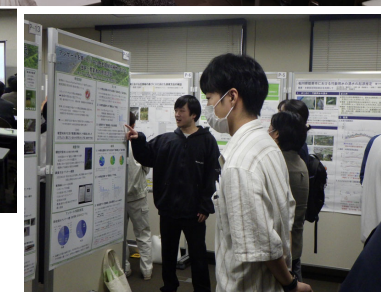
日時: 令和5年10月21日(土) 9:00~16:10

コース: 田んぼダム試験地、宮竹用水、滓上川、手取峡谷、七ヶ用水、手取川霞堤、美し河原園 など

参加者: 33名

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

北信越地域という広域的視点において地域課題に関する情報共有を図り、北信越地域及び流域全体の連携強化が期待される。大学等の研究者をはじめ、国・県の行政担当者、建設コンサルタント、市民団体などが一堂に集い、まさに産学官民が一体となって、応用生態工学や多自然川づくりとの関係、今後期待される役割への認識が共有されるとともに、人的交流の促進に寄与している。また、参加者にとって「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の維持」の意識が高まり、国や自治体の施策立案にもつながり、有益な取り組みとなっている。



フィールドワーク